

星が丘テラスにおける交流を促す取り組み —まちあるき企画と交換本箱の制作—

川野研究室（建築・住居分野）

A22AB070 社本真歩 A22AB115 藤井小雪

1. はじめに

1-1 星が丘の現状分析

星が丘は昭和 30 年代に「星ヶ丘団地」の建設から本格的な開発が行われた。住宅・商業施設・自然・文化施設が多くバランスのとれた街になっている。

1-2 企画目的

日常では気づかない街の魅力を再発見してもらう企画を行う。訪れた人々が新しい価値観に出会うきっかけを提供し、新しい交流や関係性が広がることを目指す。

1-3 企画内容・方法

東山遊園株式会社とのテラス営業部と連携し、以下の 2 つの企画を実施した。

・「まちあるきビンゴ」（時期：10 月 25 日・11 月 24 日）

・「交換本箱」（時期 11 月 11 日～3 月中旬）

1-4 スケジュール

各企画実施の際に 6 月から打ち合せを開始し、企画内容、チラシ・ポスターデザイン、交換本箱のデザイン等を決定した。（図表 1-1）

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
まちあるき ビンゴ		計画 準備・打ち合わせ				実施		
交換本箱		デザイン案検討	試作	改善			設置・管理	

（図表 1-1: スケジュール）

2. 連携先との打ち合わせ概要

①第1回打ち合わせ(5月9日)

昨年度に実施した川野研究室の企画内容をふまえて、本年度の企画内容についての提案を行った。星が丘の新しい魅力を発見できる、街歩き企画に決定した。昨年度実施した企画内容をふまえ、本年度の企画内容についての提案を行った。

② 第2回打ち合わせ(8月5日)（図表2-1）

本年度実施するまちあるきの企画はビンゴを行うこととした。



（図表 2-1: イベントの様子）

③ 第3回打ち合わせ(10月3日)

まちあるきビンゴのチラシのデザイン案を提示し、さらに交換本箱の試作品を基に詳細を検討した。

④ 第4回打ち合わせ(10月8日)

まちあるきビンゴのコースターのデザイン案やチェックポイントについての相談を行った。また、交換本箱の設置開始日・寸法確認をした。

⑤ 第5回打ち合わせ(11月8日)

星ヶ丘三越の9階にある三越映画劇場においても、昨年度川野研究が制作した交換本箱を設置する。



（図表 3-1: 本箱）

3. 第 1 回企画 まちあるきビンゴ

3-1 企画の検討（図表 3-1）

既存事例を参考に、本年度のまちあるき企画について 3 案提案を行った。それぞれのメリットとデメリットを挙げて比較を行った。（図表 3-1）

	まちあるきビンゴ	謎解き トレジャーハンター	街歩き神経衰弱
内容	街や風景に関するマスを街を歩きながら発見する。	謎を解くと街に隠された星のかけらを発見でき、星が完成する	昔の街の写真と今を見比べて変化を知ってもらう
メリット	星が丘周辺の新しい魅力の発見に繋がる。	星が完成するとそのまま貰える	昔の星が丘の街を知ることができる。
デメリット		受け入れ人数に制限がある（パーツの準備）	昔の星が丘の街の写真が手に入りにくい

（図表 3-1: 事例収集）

3-2 企画概要（図表 3-2）

星が丘テラスや星ヶ丘商店街周辺の 8 つのチェックポイントに設置されたスタンプを押し、ビンゴを目指すイベントとする。（図表 3-2）

日時：10 月 25 日（土）、11 月 25 日（月・祝）10 時～16 時（受付 15 時迄）

場所：星が丘テラス・星ヶ丘商店街

・その周辺

料金：無料

スタンプ①	街めぐりスタンプラリー
スタンプ②	有松街歩きスタンプラリー
謎解き①	名古屋謎解き小旅行
謎解き②	謎だらけの東京駅からの脱出
謎解き③	池袋謎解き街歩き
ピクニック①	川西駅 PICNICMARCHÉ
ピクニック②	ピクニックマルシェ
ピクニック③	ピクニックスカイガーデン

（図表 3-2 事例収集）

3. 第1回企画 まちあるきビンゴ

3-3 実施目的

星が丘の街周辺の魅力を再発見できる企画を行う。普段の星が丘の街に来た時は違う視点を持って、街を歩き新たな発見ができる。

3-4 企画の準備

チェックポイントの選定では、参加者の回遊性を判断基準として街巡れるように動線が自然に繋がるように9カ所に決定した。(図表 3-3)

【チラシ】

表面はポスター、裏面にはチェックポイントマップを掲載した。東山遊園株式会社、星ヶ丘三越、がじや、H GARAGE 協力の下、チェックポイントごとに説明文を入れた。(図表 3-4)



(図表 3-3: チェックポイント)



(図表 3-4: まちあるきビンゴのチラシ)

【ビンゴカード】

持ち運びやすいB5サイズとし、色は星が丘の自然を表す緑を基調とした。(図表 3-5)

【コースター】

2 ビンゴ揃えた方に参加特典としてコースター(素材:MDF、厚さ5mm、幅8cm)を制作した。チェックポイントに関連したデザインとした。まず7パターンの案を考え、加工の容易さ、見た目の綺麗さを判断基準として5パターンに絞って制作した。Illustratorでデータを作成した後、レーザーで加工をし完成品を透明の袋に梱包した。(図表 3-6)



(図表 3-5: ビンゴカード)



(図表 3-6: コースターデザイン)

【スタンプ】

消しゴムハンコでオリジナルスタンプを制作した。スタンプのデザインは、各チェックポイントに関連する絵柄とした。

【その他】

東山遊園株式会社から提供していただいた200円クーポン券を、3ビンゴ揃えた方を対象に参加特典として配布することとした。

3-5 広報計画

① Instagram (図表 3-7)

昨年からアカウントを引き継ぎ、ストーリーズや投稿を通してレーザー加工機を使用した準備の様子や、イベントの詳細、当日の様子などを発信した。



(図表 3-7: Instagramの投稿)

3-6 当日の様子

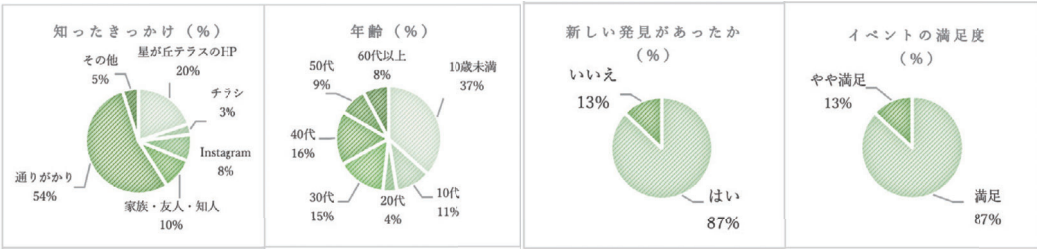
2日間で合計139人が参加した。1ビンゴが4人、2ビンゴが81人、3ビンゴが54人達成する人がいた。子ども連れの家族での参加が多く見られた。受付でコースターを飾ったことで通りがかりの人にも興味を持っていただくことができ、参加して下さる方が多かった。(図表 3-6)



(図表 3-6: 当日の様子)

3-7 アンケート集計結果

中学生以上の参加者を対象に実施した。参加者は10代未満、40代、30代の順で多かった。星が丘の街の新しい魅力を発見できたという声が多数であり、その中でチェックポイントの“H GARAGE について知れてよかった”という評価をいただいた。(図表 3-9)



(図表 3-9: アンケートの結果)

3-8 企画の反省・評価

チェックポイントに置いてある設置物が、見つかりにくいという声があったので、もう少し人の視線が集まりやすい場所や色調などの工夫が必要だった。景品配布数は2日間でコースターが81個、200円クーポンが54枚だった。コースターの亀のデザインの人気が高く在庫がなくなってしまったため、もう少し数を増やしても良かった。(図表 3-8)



(図表 3-8: 設置物)

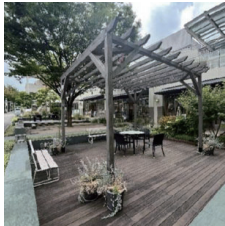
4. 第2企画 交換本箱

4-1 企画概要

本の交換を通して、街の人々との繋がりや関係性を構築する企画を実施した。(図表 4-1)

日時:11月11日~3月中旬(予定)

場所:星が丘テラス WEST パーゴラ下



(図表 4-1: 設置場所)

4-2 実施目的

本を介して、訪れた人々の間に新たな交流が広がっていくきっかけを作る企画を行う。

4-3 事例収集

交換本箱のデザインを検討する上で、既存の交換本箱について、事例収集を行った。(図表 4-3)

	風雨に強い	説明文の有無	扉の開け方
紫寶山眞廣寺	○		片開き
Tiny Free Library	○	○	両開き
森の小さな図書館	○	○	片開き
熊野公共文庫	○	○	片開き
Book Forest		○	片開き

(図表 4-3: 事例収集)



(図表 4-4: デザイン)

(図表 4-3: 降雨対策)

4-4 デザインの要望

星が丘テラスの雰囲気と調和するようなデザインという要望を受け、素材には木を使用し、着色を行わない素材を活かしたデザインとすることとした。(図表 4-4)

4-5 掲示物

交換本箱を利用する上でのルールを書いたポスターを制作した。本体の木材の色と同系色を使用し、幅広い年齢の方が読むことを想定し、文章の量を減らすことやイラストを載せることで一目見て内容が分かり、読みやすいように工夫をした。(図表 4-5)



(図表 4-5: ポスター)

4-6 デザインの検討

① 風雨対策

屋外設置のため、降雨対策を徹底して行った。その上で、山下先生に助言を頂いた。扉の内側にストッパーをつけ棚の中へ流れ込みを防いだ。さらに本を棚の奥に入れてもらえるように目印をつけ、本箱の隙間をコーキング材で埋めた。(図表 4-3)

② 試作 (図表 4-4)

第1 試作品はダンボールで制作し、本箱のデザインを3 案提案した。防雨性の高さや施工の容易さから1 案に絞った。第2 試作品はレーザーで加工を行い、MDF ボードで実寸の2 分の1 の大きさを制作した。



(図表 4-4: 試作)

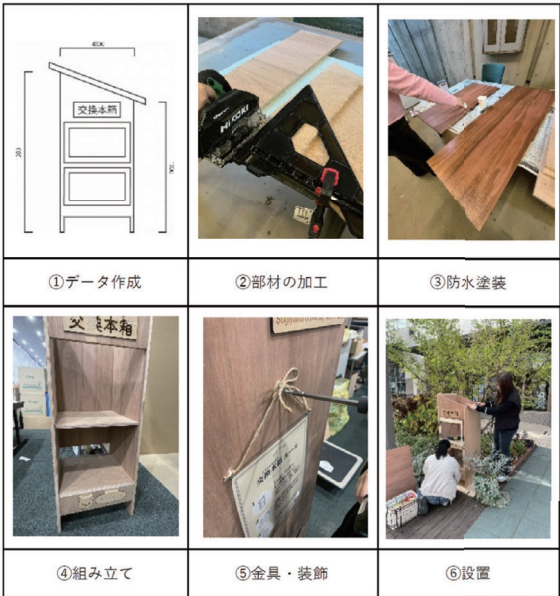
4-7 制作工程

①~⑥の手順で制作を行った。(図表 4-5)

①Illustrator でデータを作成→②部材の選定→③防水塗装→④組み立て→⑤金具・装飾→⑥完成 (図表 4-6)



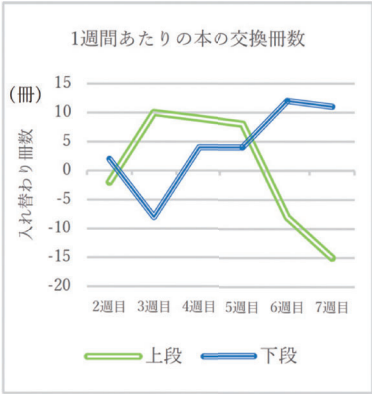
(図表 4-6: 設置写真)



(図表 4-5: 制作工程)

4-8 利活用状況

週に1 回、何冊入れ替わっているか観察を行った。期間内で合計 93 冊本が入れ替わっていた。絵本の減りが早かったので、絵本の交換を促すためにポスターや Instagram で、お知らせを行った。結果、絵本が増加した。一方で、上段の大人向けの小説などは多くの方に交換していただくことができた。(図表 4-7)



(図表 4-7: 利活用状況 (図表 4-4: 試作))

Sugiyama

生活環境デザイン学科：本でつながる街の交流！星が丘テラスに“交換本箱”設置

TOP > 新着情報 > 生活環境デザイン学科：本でつながる街の交流！星が丘テラスに“交換本箱”設置

2025.12.25 ニュース

ポイント

星が丘テラスに“本の交換箱”が登場！お気に入りの一冊で新しい出会いを楽しもう。

(図表 4-8: 大学ホームページ掲載)

4-9 企画の反省・評価

設置直後は補修が必要となったが、本の入替わりがたくさんあり、多くの方に参加していただくことができた。交換本箱の近くで本を読まれている方もいた。

5. おわりに

5-1 東山遊園株式会社担当者の意見・感想

東山遊園株式会社の担当者に、各企画の意見を伺った。「本の交換機能により来訪の度に本が入替わり、利用者が本箱を覗くきっかけが生まれ、来店頻度が高いエリアの特性に合っていた。また、家族連れの多いエリアで、遊びだけでなく読書や会話が生まれる場となることができた取り組みとなった。」という評価をいただいた。

5-2 振り返り

本企画では、星が丘の街に交流を促すことを目的とした。まちあるきビンゴのアンケートでは、約9 割の方に星が丘の魅力を再発見できたとお答えしていただいた。次に交換本箱はたくさんの方が入れ替わり、人々の交流する場所となった。この企画をきっかけに今後の星が丘の街で交流が溢れていくことを願っている。